

市交際費の支出状況



令和4年9月分

支出種別	区分	件数	金額(円)
弔慰	今月分 累計	2 47	10,000 113,800
見舞い	今月分 累計	0 2	0 20,000
御祝	今月分 累計	0 4	0 15,740
賛助	今月分 累計	0 0	0 0
激励金	今月分 累計	0 0	0 0
接遇	今月分 累計	1 41	1,120 82,934
会費	今月分 累計	0 5	0 28,000
その他	今月分 累計	0 0	0 0
合計	今月分 累計	3 99	11,120 260,474

※くわしくは市ホームページに掲載しています

問い合わせ

総務課 秘書係
☎75-2115

心のバリアフリーを 広げましょう

私たちの周りには、さまざまな場面でバリアフリーが広がってきました。たとえば、車いすを使っている人や段差を上がるのが困難な人などが使いやすいように、通路や出入口などは十分な幅を持ったスロープにする工夫が見られます。しかし、設備を整えるだけでは、社会のバリアがなくなるとは言えません。

足の不自由な知人と講演会に出掛けた時のことです。ホールの前には広い階段がありました。中央には手すりが設けられています。その手すりに沿わせて色とりどりの花が咲いたプランターが並べられていました。知人は、手すりがあれば階段を

tomoni ikiru

上がる事ができず、私は係の人と一緒に、10個ほどのプランターを動かしました。

またある日に、知人が車いすで出掛けた時のことです。店内に入る際にスロープを使おうとしたのですが、スロープの先には、大きな植木鉢が置いてありました。この時は、お店の人に動かしてもらって、店に入る事ができました。

安心安全に生活を送るために、どのようなことがバリアになっているのか、バリアをなくすために何ができるかを今一度考えてみましょう。

その人の目線になって周りを見てみると、何がバリアになっているのかが分かってくるのではないのでしょうか。一人一人が、関心を持って人のことを思いやる「心のバリアフリー」を広げましょう。

社会教育指導員 野中久美子

Message for citizen



市長コラム



すでに報道でご存知と思いますが、オミクロン株派生型「BA・5」に対応したワクチン接種が10月14日に県内トップを切って多摩市で開始しました。当日午前中に配送されたワクチンを午後からの集団接種で使用してスタートできました。

このように速やかに市民の皆さんの健康保持が可能となるような対応に努めています。

コロナ感染は第7波ピークを過ぎたように伺えますが、県内は10月20日に225人感染。まだ完全安心には至りません。

冬を控え、インフルエンザ流行とコロナ感染の同時流行も想定されます。政府では新たな感染症時代に向けた対策が検討されており、感染症法の一部改正も行われようとしています。

いずれにしても、日々の健康チェック、発熱したら外出自粛、マスク・手洗い・手指消毒・換気などの予防励行とワクチン

BA・5 ワクチンでさらに対策

市長 横尾 俊彦

10月24日 記

接種が重要です。「まあいいか」でなく、意識した対応が欠かせません。自分自身はもちろん、大切な人・家族の安全確保のためにも大事です。

安全確保といえは危機管理と通じる面があります。去る9月27日の安倍晋三元首相国葬儀に参列し、外国要人を含む4,183人とともに武道館で献花しました。外では一般の方々2万6千人が整然と列に並び供花など弔意を表されました。安全で知られてきた日本での元首相暗殺事件は世界を驚かせました。

危機管理の基本は「最悪を想定して最善を尽くす」です。この基本の徹底は感染症対策でも言えると思います。

安全はいつもあると安易に思い込まず、適切な対策の確な実行が不可欠です。皆で感染予防に努めましょう。寒さにも気をつけてお過ごし下さい。